

平成14年10月22日

各位

会社名 株式会社 クラレ
代表者名 取締役社長 和久井 康明
コード番号 3405
上場取引所 東証・大証第一部 他
問合せ先 IR・広報部長 吉野 博明
TEL . 03 - 3277 - 3100

平成15年3月期中間期末の投資有価証券評価損失および
同中間期の構造改善特別損失に関するお知らせ

当社では、「その他有価証券（財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう。）」について、金融商品の時価会計基準に基づき、簿価に比べ時価あるいは実質価額が著しく低下した銘柄について減損処理を実施しております。この度、平成15年3月期中間期末における当該有価証券の評価損失（減損処理）を算定いたしました結果、下記の通りとなりましたのでお知らせします。

また、同じく平成15年3月期中間期において発生する構造改善特別損失の額を算定いたしました結果、下記の通りとなりましたので併せてお知らせします。

記

1. 投資有価証券評価損失および構造改善特別損失の総額
（個別）

平成15年3月期中間期末の投資有価証券評価損失の総額(A)	883 百万円
平成15年3月期中間期の構造改善特別損失の総額 (B)	1,838 百万円
平成14年3月期末の個別純資産の額 (C)	278,565 百万円
(A) / (C) × 100	0.32%
(B) / (C) × 100	0.66%
平成14年3月期の個別経常利益額 (D)	14,426 百万円
(A) / (D) × 100	6.12%
(B) / (D) × 100	12.74%
平成14年3月期の個別当期純利益額 (E)	1,670 百万円
(A) / (E) × 100	52.87%
(B) / (E) × 100	110.06%

（参考）当社の決算期末は、3月31日です。

2. 今後の見通し

平成15年3月期中間期において、上記の投資有価証券評価損失883百万円および構造改善特別損失1,838百万円を特別損失として計上する予定です。なお、これらの処理による平成15年3月期中間期の業績予想数値の修正はない見込みです。また平成15年3月期の業績予想数値につきましては、現在算定中であり確定しだい発表いたします。

以上